



お台場学園だより



平成30年7月号
 港区立小中一貫教育校
 お台場学園
 〒135-0091 港区台場 1-1-5
 小学校 03-5500-2572
 中学校 03-5500-2575

「違い」の捉え方

校長 熊木 崇

先日の学校公開では、大勢の方に授業の様子を見ていただきありがとうございました。また、アンケートにもご協力いただきありがとうございます。

公開中に実施しましたセーフティ教室では、「連れ去り、不審者対応（1～4年）」「スマートフォン等による SNS 利用（5、7、9年）」「薬物乱用防止（6、8年）」の3つのテーマで学びました。子供たちが自分のことを自分で守ることができるよう、ご家庭でも話題にしてみてください。

さて、先日、子供たちには「違い」をキーワードに2つお話をしました。

1. 人は、自分と違う感じ方をする人に対して「おかしい」「変だな」と思うことがあるようです。このような思いが、相手に対する攻撃や差別につながっていることもあるようです。

そこで、自分と周囲の人は感じ方が同じではないことを体験してみました。例えば、腕組みをすると、どちらの腕が上になるでしょうか。普段と逆に組んでみると違和感があるのではないのでしょうか。自分の感覚と周囲の人の感覚は異なります。それ自体「おかしい」ことでも「変」なことでもありません。まずは、「違い」を受け入れることが大切です。

2. 一生懸命取り組んでいたのに失敗してしまって「ふざけるな」と友達に強く言われた

場合、自分だったらどのように受け止めますか。

「次から気を付けよう」と前向きに捉える人、「その言い方はおかしい」と言い返す人、特に感じない人など、様々な受け止めがあると思います。しかし、中には「つらい」「悲しい」「苦しい」と強く感じる人もいます。同じ状況でも、受け止め方には「違い」があるのです。

そこで、いつも自分の言動が相手にどのように受け止められているのかを想像することが大切です。また、日頃から、自分の思いを丁寧に伝える努力をすることも大切です。このような努力により、「違い」を乗り越え、温かい人間関係を築くことができるのではないのでしょうか。

これからの学校生活で意識してくれることを期待しています。

*** **

6月26日、韓国全羅北道教育研究情報院の方9名がお台場学園を学校視察されました。小中一貫教育について研究しているとのことで、幼稚園、小学校、中学校の子供たちが学校行事等で交流している様子や独自カリキュラムについて紹介しました。異学年交流により、子供たちに優しさや思いやりの気持ちが育まれていることが伝わり、皆さん感激されている様子でした。お台場学園のよさを伝えることができうれしかったです。

お台場学園における 児童生徒の生活状況について

【あいさつ運動実施中】

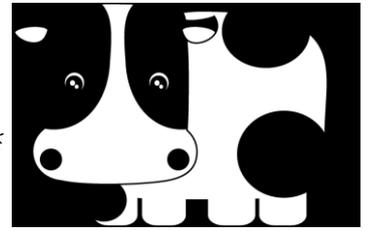
中学校では、学級委員会が中心となり、あいさつ運動を実施しております。校内にて元気のよいあいさつがとびかっています。

先月26日(火)本校にて、学校、児童相談センター、子ども家庭支援センター、民生・児童委員の方々が集まり、四者協議会が開催されました。お台場に住む子供たちは、あいさつをしっかり行うなど、行儀がよいなどのお声をいただきました。会議の中で、子供たちにとってよりよい環境をつくるために、子供たちからのあいさつに加え、保護者を含む地域の方から子供たちへの声かけがあると、より子供たちの安全・安心につながるという意見がありました。学校と地域両方で子供たちを育成していければと思います。ご協力よろしく願いいたします。

(生活指導主任 斎藤 孝太)



第7学年 移動教室



第7学年は、6月1日（金）～4日（月）の4日間、野辺山移動教室へ行ってきました。4日間とも天候に恵まれ、梅雨入り前のさわやかな新緑の中、予定通り順調に行うことができました。

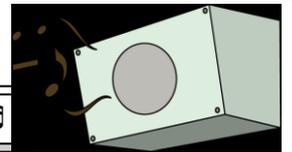
国際自然大学校では、アスレチックの器具を使って、仲間どうして知恵を出し合い助け合いながら、課題を解決する大切さを学びました。

また、うすだスタードームでは、口径60cmの高精度の大型天体望遠鏡で、一人一人がじっくりと木星の観測をすることができました。そして、満天の星空のもと、講師の方から興味あるお話や星座の見方を教えていただきました。

そのほか、飯盛山や清泉寮周辺のハイキング、マグカップづくりの陶芸体験、酪農体験で牛の世話や搾乳体験、夜のレクリエーション大会のほか、郷土料理のほうとうづくりやピザづくりでは、地域の方とのふれあいながら食体験ができました。

第7学年は少人数の学年ではありますが、日頃から「少人数だからこそできること」をモットーに教育活動を行っています。この4日間の移動教室でも、共同生活や体験、お互いのふれあいを通して、生徒どうしや、生徒と教員の絆をより深めることができました。移動教室での経験をもとに、子供たちがさらに大きく成長していくことを楽しみに、その姿を見守って参ります。
(第7学年主任 土屋伸吾)

委員会活動の紹介：放送委員会



♪「おはよう」から「さようなら」まで、心からあなたを楽しませる放送委員会 ♪

放送委員会は、学校生活を支える重要な委員会です。中学生はお台場学園の上級生として、学校放送全般に対して責任をもって仕事に取り組んでいます。給食時間に行う昼の放送、朝礼の準備など、専門的な知識を生かしながら活躍しています。

1学期は、運動会の放送担当としての仕事もありました。事前の準備では、機器の確認とともにアナウンスの練習にも取り組みました。本番は、アナウンスを中心に、放送機器の操作、BGMの放送に力を発揮しました。2学期には学芸発表会もあります。今後も放送委員会は、大切な仕事をしているという自覚をもち、責任をもって仕事に取り組んでいきます。
(中学校担当 岸田興治)

放送委員会の活動は、全校児童の日々の行動に関わる重要な活動です。そのため放送委員の子供たちには、そのことを十分に意識した上での活動が求められます。4月からの子供たちの活動の様子を見ると十分にそのことを意識していることがうかがえます。一人一人が責任をもって、朝の放送や水・金曜日（月・火・木曜日は中学生が担当）の給食時間などの放送を行い、また、朝会や集会のある日には、マイクや放送機器の準備、退場曲の放送などにも取り組んでいます。

現在は、給食時間の放送において、もっとよく聞いてもらうための工夫や新しい内容をやってみようと企画や準備を進めているところです。子供たちの今後の活動も楽しみです。
(小学校担当 榎澤美生 隈部康雄)



【7月の主な行事】

- ・5日 東京都学力調査（5年、8年）
- ・10～13日 箱根移動教室（6年）
- ・17日 保護者会
- ・19日 給食終
- ・20日 終業式
- ・21日 夏季休業日始（～8月31日）
- ・23～27日 三者面談（7、9年）
- ・23～27日 夏季補習教室（中）
- ・26～29日 夏季学園（8年）
- ・23～24日 夏季水泳指導（中）前期
※後期：8月30日b
- ・25～8月1日 夏季水泳指導（小）前期
※後期：8月27日～30日



【スクールカウンセラー 相談曜日】

- 青木 理恵子 火曜日（小学校）
- 奥野 典子 金曜日（小・中学校）
- 廣瀬 信慶 火曜日（中学校）

電話連絡先

●小学校 03-5500-2572 ●中学校 03-5500-2575



【児童・生徒 活動の記録】

9年

<東京都中学校第1ブロック

柔道大会 第2位>

都大会進出決定！

